

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-13
補助事業名 平成26年度 ファインセラミックスに関する国際標準化推進 補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本ファインセラミックス協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本が幹事国のISO/TC206、ISO/TC150/SC7の国際委員会に専門家委員を派遣し、初期段階より我が国の提案・意見を反映させ、我が国を利する国際規格策定を目指す。又国内では、幹事国業務委員会にて、戦略立案・規格内容の精査・規格化の進め方等を審議する。もって、我が国機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

①ISO/TC206総会 (URL <http://www.jfca-net.or.jp/contents/index/33>)

ISO/TC206第21回総会が、平成26年9月3日、11カ国の参加を得て、チェコ・プラハで開催された。総会前の1日及び2日には、WG（ワーキンググループ）・AG（アドバイザリーグループ）会議に加えて、昨年の総会で設置が決議されたタスクグループにおいて、規格原案の審議と新業務項目の今後の取扱いなどが議論された。今年度の新業務項目7項目の内4項目は日本発の提案であり、確実に規格開発プロセスを進展させ、国際規格化を目指す活動が必要である。



ISO/TC206第21回総会各国出席者



ISO/TC206第21回総会審議状況

②ISO/TC150ソウル総会 (URL <http://www.jfca-net.or.jp/contents/index/56>)

2014年ISO/TC150ソウル総会及びSC(分科委員会)・WG(ワーキンググループ)会議が、平成26年が9月15日～19日、12カ国の参加を得て、韓国・ソウルで開催された。日本提案の規格内容の説明を行うと共に、各国専門家と規格内容についての議論や情報交換を行った。今年度の新業務項目1件の規格開発プロセスを確実に進展させ、国際規格化を目指す活動が必要である。



2014年ISO/TC150ソウル総会審議状況



ISO/TC150/SC7審議状況

2 予想される事業実施効果

ISO/TC206については、ファインセラミックス関連の特性試験方法や評価方法等の規格を策定する事によって、品質を明確に識別できる・粗悪品を市場から排除できる等の成果が期待でき、広範囲の分野で製品の性能向上や普及拡大に貢献できる。具体的には、光触媒による抗菌抗ウイルス市場の拡大、複合材料を使った軽量高耐熱材料の開発、高効率な燃料電池の普及促進などに寄与する事が期待できる。

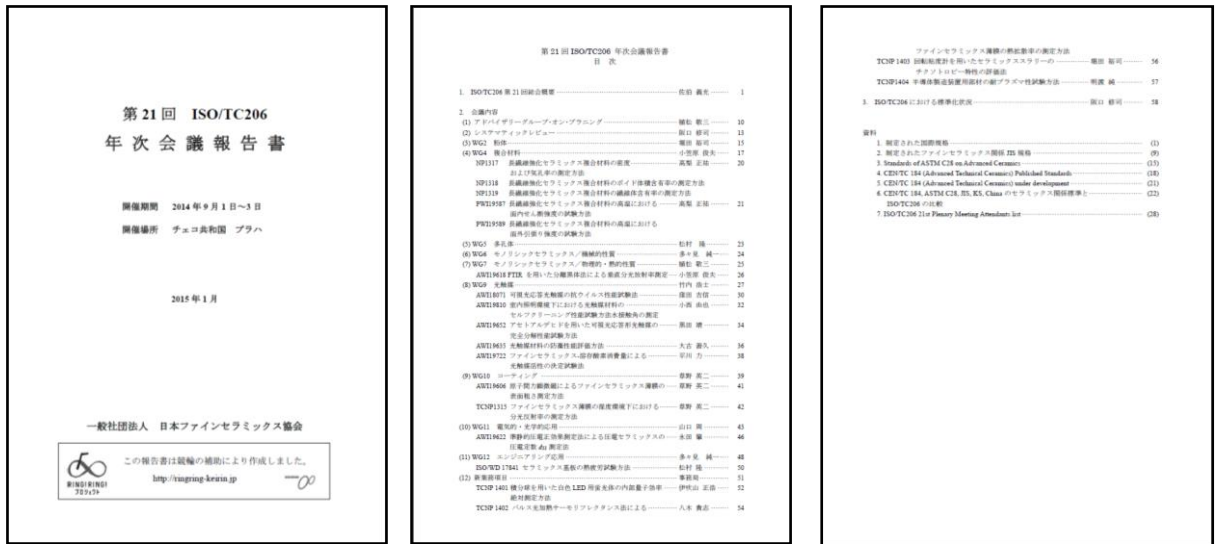
ISO/TC150については、外科用インプラントの再生医療機器に関する特性試験方法や評価方法等の規格を策定する事によって、品質を明確に識別できる・粗悪品を市場から排除できる等の成果が期待でき、様々な製品の性能向上や普及拡大に貢献できる。具体的には、再生医療機器の普及などに寄与する事が期待できる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

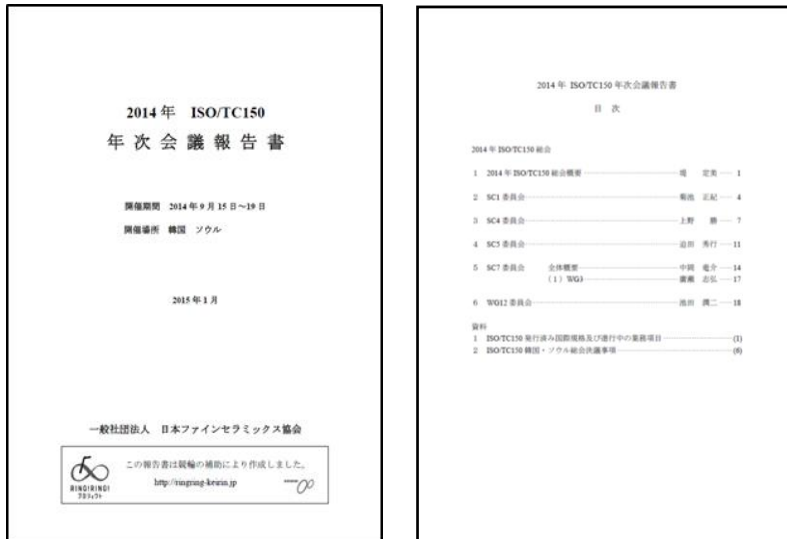
①第21回ISO/TC206年次報告書

(URL:http://www.jfca-net.or.jp/data_files/view/1796)



②2014年ISO/TC150年次報告書

(URL:http://www.jfca-net.or.jp/data_files/view/1776)



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本ファインセラミックス協会

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園一丁目2番6号

代表者： 役職名 会長 木瀬 照雄

担当部署：

担当者名： 技術担当部長 塩澤 隆司

電話番号： 03-3431-8271

F A X： 03-3431-8284

E-mail： shiozawa@jfca-net.or.jp

U R L： <http://www.jfca-net.or.jp>